

Oracle Cloud Adapter for Oracle RightNow Cloud Service



Oracle Cloud Adapter for Oracle RightNow Cloud Service を使用すると RightNow Cloud Service をシームレスに接続および統合できるため、Service Cloud プラットフォームを拡張して信頼性のある優れたカスタマ・エクスペリエンスを提供できます。このアダプタは、SaaS アプリケーションとの統合時の所要時間を短縮し、生産性を向上し、TCO を低減します。

おもな機能

- 直感的で豊富な機能の JDeveloper ベースの設計時ウィザード
- Connect Web Services for SOAP 上に構築
- RightNow 標準 WSDL をサポート
- コード・アシスト機能を持つ強力な ROQL デザイナ/テスト UI
- 標準/カスタム・オブジェクトをサポート
- 構成しやすく強力なセキュリティ・モデル
- 優れた可用性、スケーラビリティ、信頼性
- RightNow ビジネス・オブジェクトとの間のデータ・マッピングの簡素化
- バッチ統合をサポート

製品概要

Oracle Cloud Adapter for RightNow は、Oracle RightNow Cloud Service との統合に関して、開発者の生産性の飛躍的な向上、包括的な接続性、および優れた信頼性とパフォーマンスを実現します。このアダプタは、おもに次の 3 点で、お客様に価値を提供します。

- **統合のコスト削減**：SaaS アプリケーションの統合は、Web サービスをコールするように簡単なことではありません。これを実現するには、設計時および実行時の考慮事項が複数あるため、ユーザーは認証、セッション管理、トランスフォーメーション・マッピングなどのための統合ミドルウェアに追加のビジネス・ロジックを手動で構築して、管理する必要があります。Oracle JDeveloper 内で統合されたポイント・アンド・クリック方式のウィザードベースの設計ツールを使用して、ユーザーがグラフィカルに構成できる標準機能を提供する Oracle Cloud Adapter for RightNow は、この複雑なビジネス・ロジックを構築し、維持するコストを大幅に削減します。
- **開発生産性の向上**：Oracle Cloud Adapter for RightNow は、Oracle RightNow Cloud Service との接続および統合を構成するためのグラフィカルなウィザードを提供します。このアダプタは、開発作業を効率化し簡素化する、グラフィカルなビジネス・オブジェクト・カタログを提供します。このカタログによりユーザーは、専門的な詳細を理解する必要なく、関心のある 1 つまたは複数のビジネス・オブジェクトをネイティブに参照し、検索し、選択できます。
- **製品化までの時間を短縮**：統合開発者は、複雑な標準サービス・インタフェースを解読して統合に必要なコードを手動で作成する必要がありません。RightNow Cloud Adapter を使用することで実装時のエラーが減少し、テスト・サイクルが短縮されるため、ビジネス・プロセスを横断して RightNow Cloud と他のクラウド・アプリケーションやオンプレミス・アプリケーションを統合する場合の時間が短縮されます。

このアダプタのおもな機能は、以下のとおりです。

標準ビジネス・オブジェクトおよびカスタム・ビジネス・オブジェクトのグラフィカルな検出

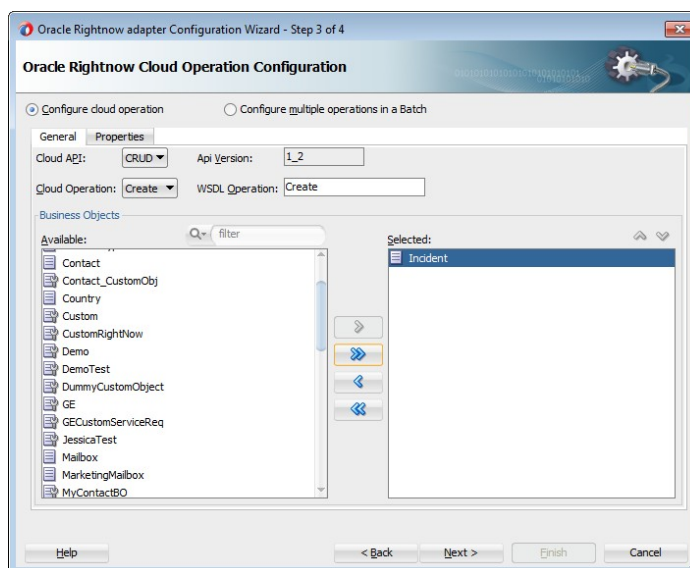


図 1 : RightNow Adapter デザイナのビジネス・オブジェクト・カタログ

RightNow の標準およびカスタムのビジネス・オブジェクトを、JDeveloper のグラフィカルなアダプタ構成ウィザードで参照および検索できます。大幅に簡素化された宣言的な方法で選択肢の中からオブジェクトと操作を選択できるため、技術的な詳細を理解する必要はありません。

コード・アシスト機能および検証機能を持つ強力な ROQL デザイナ/テスト UI

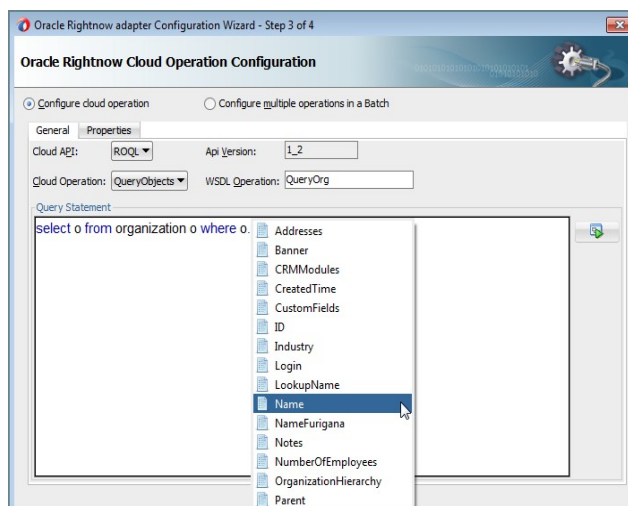


図 2 : JDeveloper の ROQL コード・エディタ

アダプタのデザインタイムには、コード・インサイトの支援を受けながら ROQL クエリーのモデリングができる検証機能付きコード・エディタが用意されています。つまり、ROQL クエリーのモデリングを行うときにオブジェクトやリレーションシップの正確な名前を思い出す必要がないということです。また、クエリーに構文エラーがあると、編集しているときに強調表示されます。このエディタはデザインタイム・テストにも対応しています。RightNow クラウド・インスタンスに対してクエリーを実行し、クエリーのセマンティックと結果をデザインタイムにしながら検証できます。

デザインタイムでのバルク操作、バッチ操作、連鎖操作

RightNow Adapter のデザインタイムでは、連絡先、インシデントおよびアカウントを 1 つのリクエストで作成するバルク操作をポイント・アンド・クリック方式でモデリングできます。

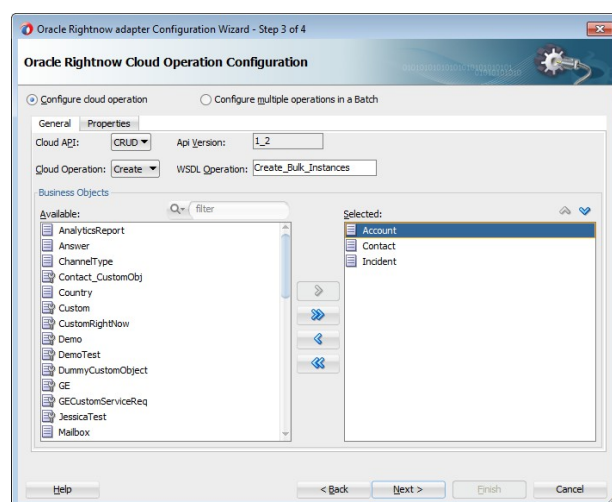


図 3：バルク操作の構成

関連性のないビジネス・オブジェクトに対する複数種類の操作を混在させたバッチ操作を視覚的に構成することもできます。たとえば、メールの作成、更新、削除、連絡先への送信を 1 つのリクエストで行うバッチ操作を構成することができます。

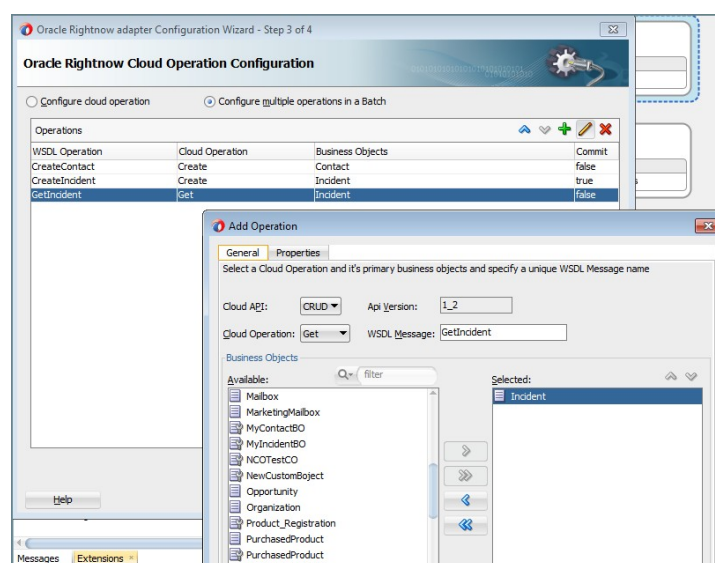


図 4：バッチ操作の直感的なビジュアル・モデリング

RightNow アダプタは、依存関係にあるビジネス・オブジェクトを 1 つのリクエストで処理する連鎖型 CRUD 操作もサポートしています。たとえば、1 つのリクエストで新しい連絡先を作成し、連絡先 ID を新しいインシデントに“連鎖”させ、インシデントの連絡先を設定することができます。

RightNow との包括的な接続

このアダプタは、Connect Web Services for SOAP API を介した RightNow Cloud Service との統合をサポートします。このアダプタの使用により、RightNow インスタンスに対して以下の操作を実行できます。

1. CRUD (作成/読み取り/更新/削除)
2. クエリー (ROQL)
3. CRUD/クエリー操作のバッチ

構成しやすく強力なセキュリティ・モデル

このアダプタのデザインタイムを使用すると、RightNow 資格証明を設計時に指定し、それを資格証明ストアにセキュアに格納することができます。統合プロジェクトでこれらのセキュリティ・ポリシーを手動で管理する必要はありません。代わりにアダプタがセキュリティ・ポリシーを透過的に管理してくれます。

簡素化されたサービス・インタフェース

Oracle RightNow Cloud Service によって公開されているサービス・インタフェースは、型指定が弱く、本質的に多様性を持つため、特に変換のモデリングは面倒な作業です。アダプタを使用した設計時には、ビジネス・オブジェクト・ドキュメント間の仮想マッピングを支援する、より簡潔で型指定の強いサービス・インタフェースが生成されるため、この複雑さが軽減されます。

Oracle Fusion Middleware コンポーネントとの統合

このアダプタは、Oracle SOA Suite および Oracle BPM Suite のコンポーネント (SOA 複合アプリケーションおよび Oracle Service Bus を含む) での動作が確認されています。



お問い合わせ

Oracle Cloud Adapter for RightNow Cloud Service について詳しくは、oracle.com をご覧いただくか、+1.800.ORACLE1 でオラクルの担当者にお問い合わせください。

CONNECT WITH US



blogs.oracle.com/soa



facebook.com/oraclesoa



twitter.com/oraclesoa



oracle.com/soa

Hardware and Software, Engineered to Work Together

Copyright © 2015, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved. 本文書は情報提供のみを目的として提供されており、ここに記載されている内容は予告なく変更されることがあります。本文書は、その内容に誤りがないことを保証するものではなく、また、口頭による明示的保証や法律による黙示的保証を含め、商品性ないし特定目的適合性に関する黙示的保証および条件などのいかなる保証および条件も提供するものではありません。オラクルは本文書に関するいかなる法的責任も明確に否認し、本文書によって直接的または間接的に確立される契約義務はないものとします。本文書はオラクルの書面による許可を前もって得ることなく、いかなる目的のためにも、電子または印刷を含むいかなる形式や手段によっても再作成または送信することはできません。

Oracle および Java は Oracle およびその子会社、関連会社の登録商標です。その他の名称はそれぞれの会社の商標です。

Intel および Intel Xeon は Intel Corporation の商標または登録商標です。すべての SPARC 商標はライセンスに基づいて使用される SPARC International, Inc. の商標または登録商標です。AMD、Opteron、AMD ロゴおよび AMD Opteron ロゴは、Advanced Micro Devices の商標または登録商標です。UNIX は、The Open Group の登録商標です。1114



Oracle is committed to developing practices and products that help protect the environment